

# 2021年春闘 働くみんなの要求アンケート最終 結果

2021年3月14日

日本医労連調査政策局

## ■集約数

2021年春闘 働くみんなの要求アンケートを3月1日に集約を締め切りました。配布数は未記入も多くありましたが、合計配布数は、75569枚で集約数は55856（昨年54876）人分でした。新型コロナウイルス感染拡大が収まらない中、実施した特別項目では、病院を中心とした医労連の加盟組織では平常時よりも過酷な勤務を余儀なくされたため多くの組織で実施できないケースやVOICEのみを集約するなどの対応があしました。その結果、自由記入項目であるVOICEのみの回答を含め21935人分を集約しました。

また、単純集計結果のみが送られてきたため集計に反映できなかったものが580人分あり、あわせると56436人分を集約しました。（以下昨年分）

## ■性別

男性 22.4%、女性 77.3%、NA0.3%

## ■年齢

20代～50代までほぼ20%台であり、年齢分布について例年通り平準化しています。

## ■雇用

正職員 81.4%、フルタイム無期 1.8%、フルタイム有期 1.8%、パート・臨時 12.6%、派遣 0.3%、個人請負・業務委託 0.1%、継続雇用 1.5%、その他 0.3%と圧倒的に正職員が占め、非正規職員までの広がりはありません。

## ■組合加入

「加入している」82.9%、「組合はあるが加入していない」は12.9%となっています。「組合はない」と答えた人、組合があるかどうか「わからない」人を合わせると3.7%いました。

## ■職種

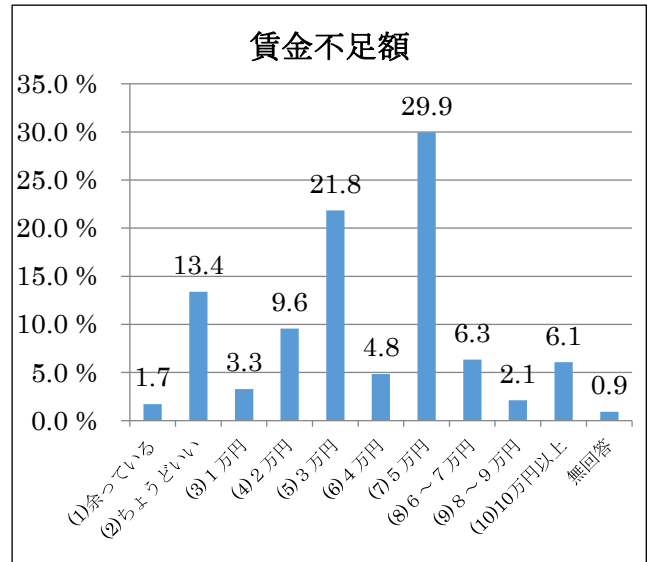
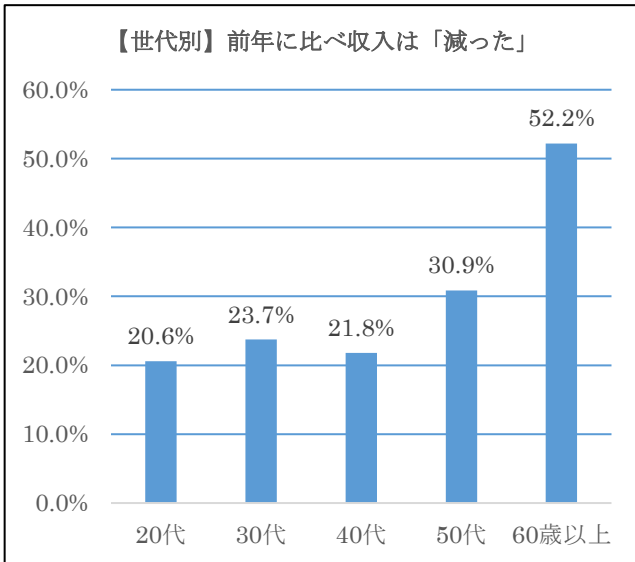
「看護職」が44.7%と半数を占め、「医療技術職」19.4%、「介護職」12.5%、「事務職」11.7%「技能・労務職（助手含む）」4.6%で、「保育士」は0.8%、「医師」0.6%でした。

## ■設問1（1）生活実感

「かなり苦しい」10.4%（14.0）、「やや苦しい」40.9%（44.0）とあわせて51.3%（58.0）が苦しいと答えています。

### ■設問1 (2) 収入(年間)の前年比較

「増えた」が20.3% (22.6)、「変わらない」52.5% (55.7) となっています。「減った」26.5% (20.9) でした。また「減った」と回答した中で、50代で3割、定年再雇用など60歳以上で約5割となっています。



### ■設問1 (3) 生活実感からの不足額

「5万円」29.9% (30.6) と最高値で、次いで「3万円」21.8% (22.8) となっており、例年通りの傾向です。

加重平均 38,683.0円 (40,285.9円) で昨年より1,602.9円改善しました。

### ■設問1 (4) 生活実感から一番の負担感

全体平均でみると第1位が「住居費」23.4% (22.3)、第2位「税・社会保険料」22.8% (19.6) で1位と2位が入れ替わっています。第3位「学費(子供の教育費・研修費・教材費・保育料など)」17.1% (18.0)、第4位「食費」14.9% (14.3) と例年通りの順位となっています。

年齢別にみると「税・社会保険料」については、ほぼすべての年代で2割台ですが、「学費」については40代が3割を超え、50代も2割台と高くなっている点を踏まえると、子どもの教育費がかかる世代で高値になっていることがうかがえます。

また「奨学金の返済」が20代では第4位(3位)で、全世代の中で比較すると第1位になっており、若年層を苦しめている状況がみてとれます。

	単純集計	【年齢別】生活実感から一番の負担感					
		10代	20代	30代	40代	50代	60歳以上
(1)食費	14.9%	18.7%	15.3%	14.5%	14.4%	13.1%	22.4%
(2)住居費	23.4%	20.9%	27.4%	29.4%	19.4%	20.1%	15.9%
(3)水道・光熱費	3.9%	3.6%	3.0%	3.3%	3.3%	4.6%	8.3%
(4)医療・介護費	3.8%	2.9%	2.3%	2.7%	2.9%	5.6%	10.2%
(5)交通費(自動車の維持費も含む)	5.7%	11.5%	9.2%	5.9%	4.0%	4.0%	4.8%
(6)通信費	2.3%	6.5%	1.8%	2.0%	2.3%	3.0%	2.5%
(7)学費(子供の教育費・研修・教材費・保育料など)	17.1%	11.5%	2.1%	13.2%	31.9%	23.7%	2.3%
(8)奨学金の返済	4.8%	5.8%	14.9%	4.1%	0.6%	1.7%	0.8%
(9)税・社会保険料	23.3%	15.1%	23.5%	24.4%	20.4%	23.2%	30.7%

### ■設問1（5）月額賃金要求

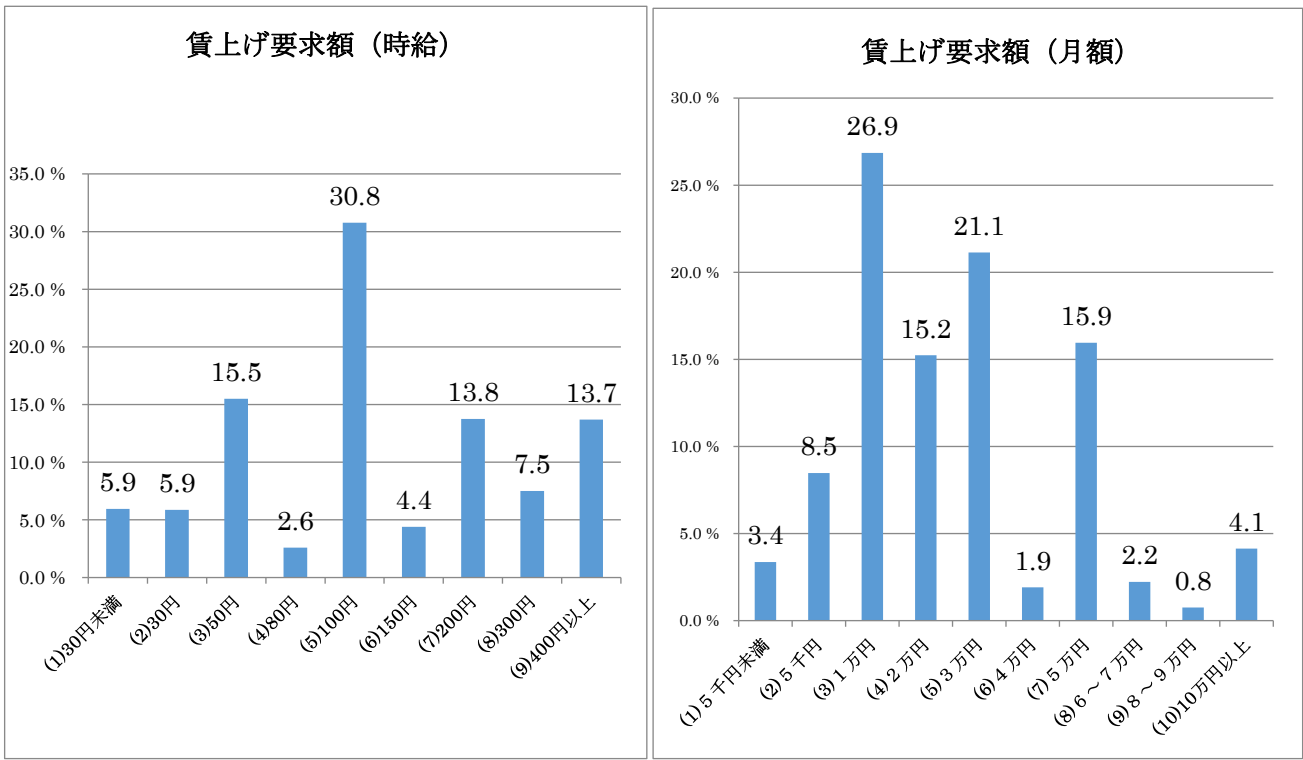
賃上げ要求額としては、「1万円」26.9%（26.0）と一番高く、次いで「3万円」21.1%（21.6）、「2万円」15.2%（15.5）、「5万円」15.9%（15.3）の順となっています。

加重平均で28,392円（28,540円）となり、昨年より417円下がっています。「5万円」を要求する声は高まっており、5年前の16春闘と比較して2.0%も引き上げられています。

### ■設問1（7）時間額賃金要求

「100円」30.8%（29.3）、「50円」15.5%（15.3）、「200円」13.8%（14.8）、「400円以上」13.7%（13.9）に集中しています。

加重平均で163.41円（165.53円）となり、前年より2円引き下がっています。



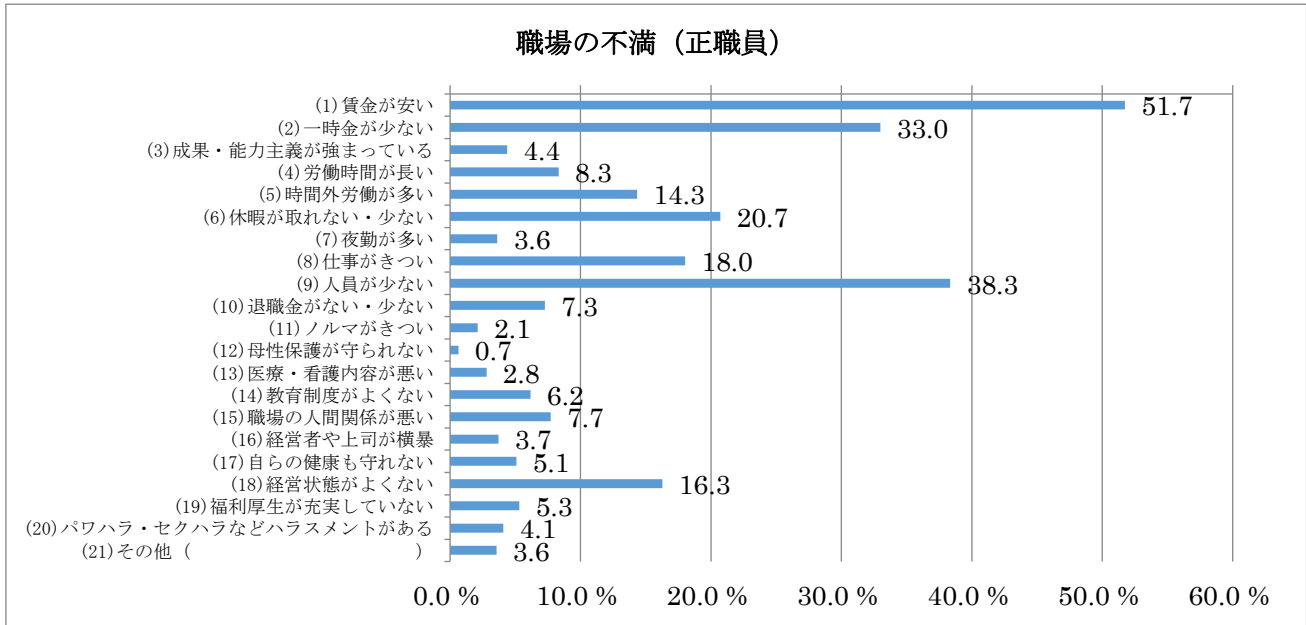
### ■設問2（1）疲れ具合

「とても疲れる」44.0%（45.2）、「やや疲れる」49.0%（48.0）あわせて、93.0%（93.2）が「疲れる」と回答しています。

### ■設問3（1・2）職場の不満（正職員）

正規職員の職場の不満では「賃金が安い」が不動のトップで、51.7%と5割を超えています。特に20代で67.0%、30代で55.1%・10代で53.3%と仕事を求められる若い世代で非常に高くなっています。

また、「人員が少ない」38.3%、「一時金が少ない」33.0%と続き、ここについては全世代にわたって共通の不満となっています。

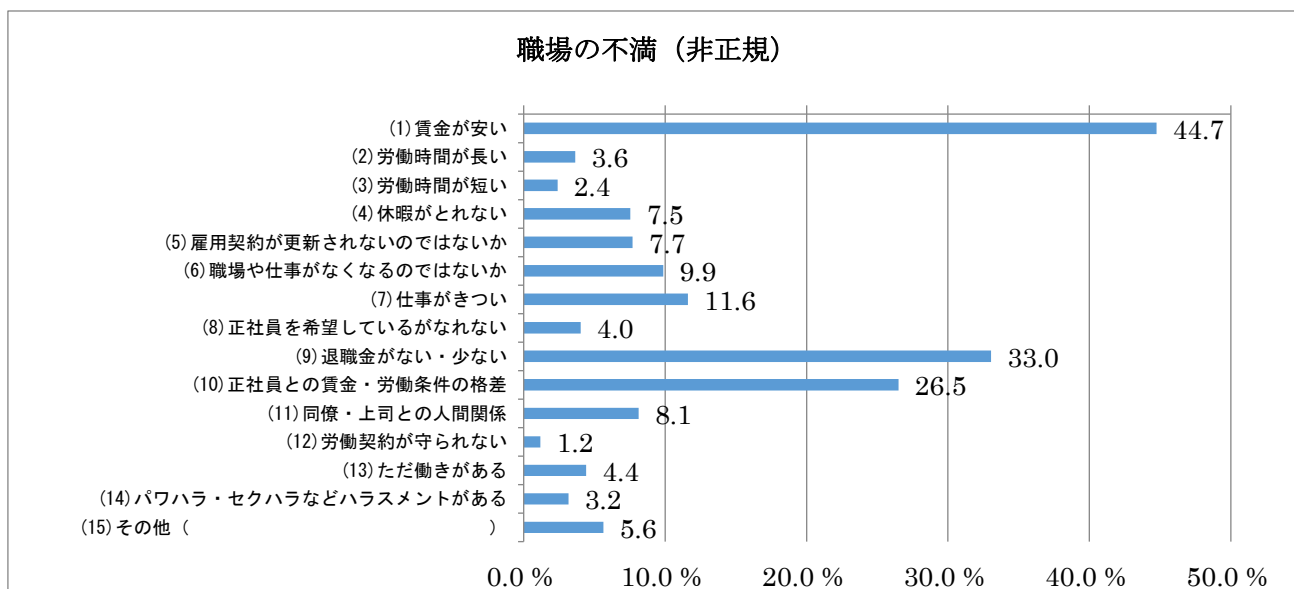


	単純集計	【年齢別】職場の不満（正職員）					
		10代	20代	30代	40代	50代	60歳以上
(1)賃金が安い	51.7%	53.3%	67.0%	55.1%	44.2%	38.1%	37.9%
(2)一時金が少ない	33.0%	23.4%	29.0%	34.3%	32.9%	36.7%	35.5%
(3)成果・能力主義が強まっている	4.4%	6.5%	2.8%	4.3%	5.0%	5.6%	4.9%
(4)労働時間が長い	8.3%	11.2%	9.1%	7.8%	8.5%	7.8%	6.5%
(5)時間外労働が多い	14.3%	15.9%	20.1%	13.0%	13.0%	10.9%	5.6%
(6)休暇が取れない・少ない	20.7%	19.6%	17.6%	19.5%	22.5%	24.8%	17.4%
(7)夜勤が多い	3.6%	3.7%	3.8%	3.5%	3.7%	3.6%	1.7%
(8)仕事がつつい	18.0%	28.0%	20.1%	16.9%	18.0%	17.1%	14.0%
(9)人員が少ない	38.3%	33.6%	37.3%	37.8%	39.6%	39.5%	31.5%
(10)退職金がない・少ない	7.3%	8.4%	5.1%	6.0%	7.4%	11.2%	14.7%
(11)ノルマがつつい	2.1%	0.9%	1.7%	1.9%	2.4%	2.6%	3.2%
(12)母性保護が守られない	0.7%	0.9%	0.4%	1.2%	0.7%	0.2%	0.0%
(13)医療・看護内容が悪い	2.8%	1.9%	1.8%	3.0%	3.5%	2.9%	2.2%
(14)教育制度がよくない	6.2%	4.7%	5.7%	8.1%	6.3%	4.3%	2.7%
(15)職場の人間関係が悪い	7.7%	6.5%	6.7%	7.8%	8.4%	7.9%	7.7%
(16)経営者や上司が横暴	3.7%	1.9%	2.4%	4.2%	4.4%	4.0%	2.2%
(17)自らの健康も守れない	5.1%	0.0%	3.9%	4.9%	5.4%	6.8%	4.2%
(18)経営状態がよくない	16.3%	11.2%	12.5%	18.2%	17.6%	16.9%	15.6%
(19)福利厚生が充実していない	5.3%	0.9%	5.0%	5.0%	5.2%	6.2%	8.5%
(20)その他( )	4.1%	4.7%	2.3%	4.0%	5.0%	5.3%	4.2%

## 職場の不満（非正規）

非正規職員の不満では、「賃金安い」44.7%（44.3）が正職員同様にトップとなり、それを引き上げているのが再雇用者などの60歳以上の職員で59%となっています。再雇用になって極端に賃金が減ったことに対する不満が大きいことがうかがえます。また、20代で50%、30代・40代・50代については、40%台と全世代において、どの不満より高くなっています。

次いで「退職金が少ない（ない）」33.0%、「正職員との格差」26.5%の順になります。50代までで比較すると、年齢が高くなるにつれ不満の数字が上がっています。一定の経験を積み仕事の内容もほぼ正職員と同じような状況の中で、賃金・労働条件の違いに不満を感じていることがうかがえます。



	単純集計	【年齢別】職場の不満(非正規職員)					
		10代	20代	30代	40代	50代	60歳以上
(1)賃金が高い	44.7%	22.6%	55.2%	46.2%	44.9%	40.9%	61.8%
(2)労働時間が長い	3.6%	0.0%	4.7%	4.2%	3.3%	3.7%	4.8%
(3)労働時間が短い	2.4%	3.2%	3.6%	1.6%	2.7%	2.7%	2.8%
(4)休暇がとれない	7.5%	0.0%	8.1%	6.3%	7.5%	8.1%	10.4%
(5)雇用契約が更新されないのではないか	7.7%	9.7%	9.9%	8.1%	8.3%	7.3%	9.3%
(6)職場や仕事がなくなるのではないかと	9.9%	3.2%	9.9%	8.5%	12.0%	11.4%	10.2%
(7)仕事がきつい	11.6%	0.0%	10.1%	12.5%	11.9%	13.8%	13.3%
(8)正社員を希望しているがなれない	4.0%	6.5%	8.3%	6.3%	5.8%	3.9%	1.2%
(9)退職金がない・少ない	33.0%	3.2%	20.1%	31.9%	37.6%	42.1%	34.3%
(10)正社員との賃金・労働条件の格差	26.5%	0.0%	20.1%	25.9%	29.1%	28.0%	33.4%
(11)同僚・上司との人間関係	8.1%	6.5%	9.5%	8.4%	8.6%	8.8%	9.5%
(12)労働契約が守られない	1.2%	0.0%	0.6%	1.1%	1.1%	1.5%	1.7%
(13)ただ働きがある	4.4%	3.2%	6.3%	4.9%	3.6%	4.4%	6.7%
(14)その他( )	3.2%	0.0%	2.6%	3.1%	3.4%	3.4%	4.0%

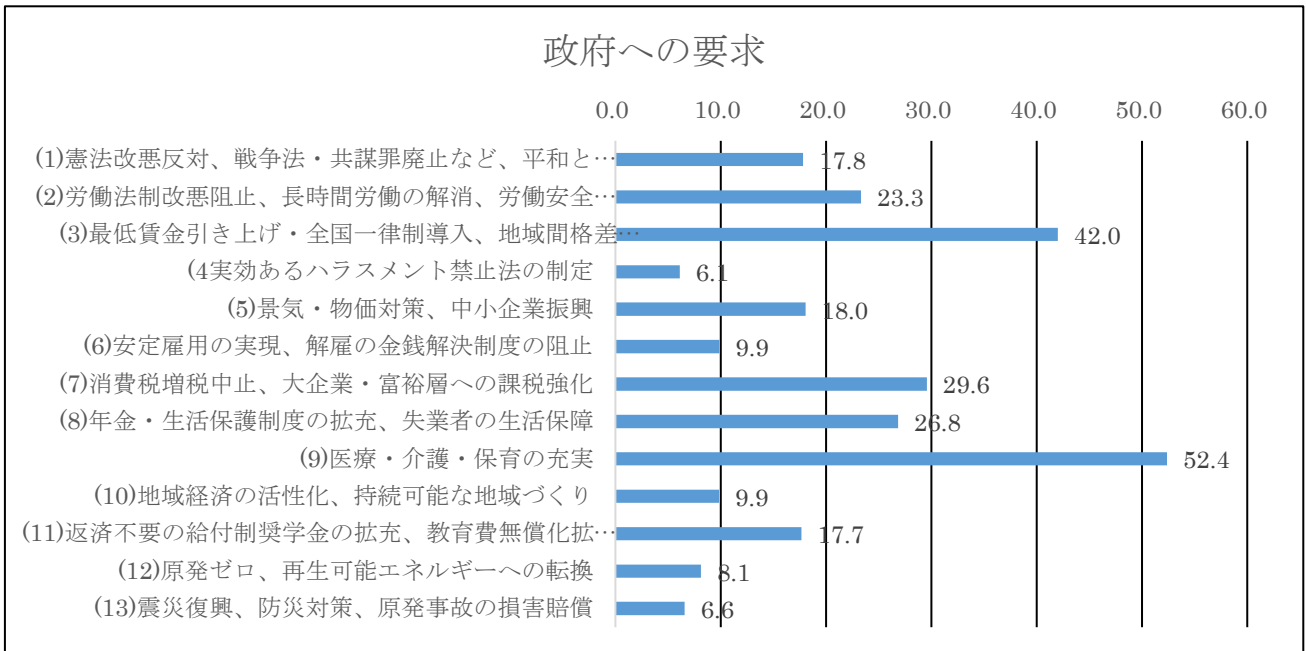
## ■設問4 政府への要求

第1位は「医療・介護・保育の充実」52.4% (43.0) で、次いで、「最低賃金引き上げ・地域間格差の解消」42.0% (39.0)、「消費税増税中止、大企業・富裕層への課税強化」29.6% (29.2)、「年金・生活保護制度の拡充」26.8% (27.1) と続き、昨年から順位に変動はありません。

新型コロナウイルス感染拡大が収まる気配をみせない中、「医療・介護・保育の充実」が9.4%引きあがりました。「最低賃金引き上げ」については、3年連続で2位となっています。

自由記入欄には、「介護看護の人手不足に対する対策を充実させて欲しい」「夜勤のための休み、夜勤のための有休消化になっている」「年金等、将来の不安」「子育て世代へのサービス拡充」などの声が寄せられています。

20春闘では、全労連のめざす「全国一律最低賃金制度」実現の運動に結集することと併せ、看護師と介護職を対象とした特定最賃（産別最賃）の新設をめざして取り組みを大きく広げていくことが求められています。



	単純集計	【年齢別】職場の不満(非正職員)					
		10代	20代	30代	40代	50代	60歳以上
(1)憲法改悪反対、戦争法・共謀罪廃止など、平和と民主主義の擁護	17.8%	22%	12%	14%	18%	22%	35%
(2)労働法制改悪阻止、長時間労働の解消、労働安全衛生強化	23.3%	27%	38%	26%	19%	15%	8%
(3)最低賃金引き上げ・全国一律制導入、地域間格差の解消、公契約	42.0%	45%	55%	44%	36%	35%	35%
(4)実効あるハラスメント禁止法の制定	6.1%	8%	7%	7%	6%	5%	3%
(5)景気・物価対策、中小企業振興	18.0%	9%	15%	21%	19%	18%	14%
(6)安定雇用の実現、解雇の金銭解決制度の阻止	9.9%	15%	8%	8%	11%	12%	11%
(7)消費税増税中止、大企業・富裕層への課税強化	29.6%	18%	25%	29%	31%	32%	35%
(8)年金・生活保護制度の拡充、失業者の生活保障	26.8%	18%	19%	21%	26%	38%	44%
(9)医療・介護・保育の充実	52.4%	43%	47%	58%	55%	52%	45%
(10)地域経済の活性化、持続可能な地域づくり	9.9%	10%	8%	11%	10%	10%	8%
(11)返済不要の給付制奨学金の拡充、教育費無償化拡大、民主的	17.7%	15%	17%	19%	22%	14%	7%
(12)原発ゼロ、再生可能エネルギーへの転換	8.1%	6%	2%	5%	9%	13%	20%
(13)震災復興、防災対策、原発事故の損害賠償	6.6%	6%	5%	6%	7%	8%	7%

## コロナ関連、特別項目

### ■集約数

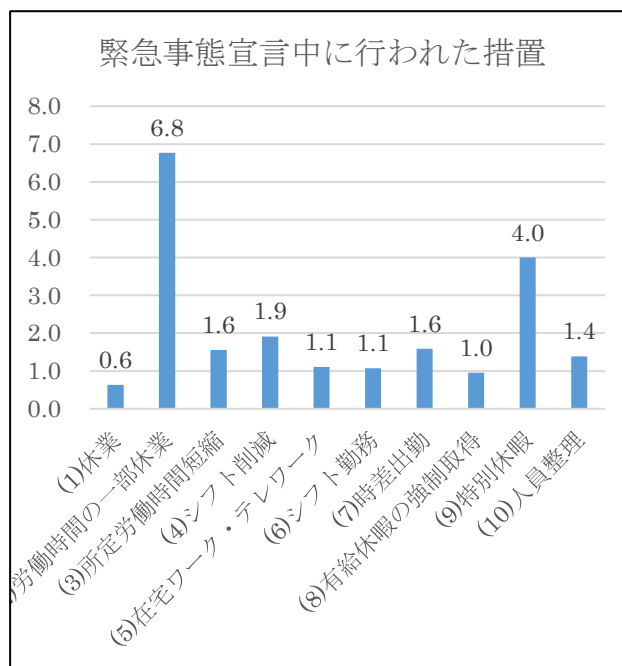
新型コロナ対策として、大企業中心に各項目の措置が実施されましたが、病院を中心とした医労連の加盟組織では平常時よりも過酷な勤務を余儀なくされたため多くの組織で実施できないケースや VOICE のみを集約するなどの対応があった結果、自由記入項目である VOICE のみの回答を含め集約数は 21935 人分でした。

### ■特別項目 設問 1

#### 緊急事態宣言機関に行われた措置

圧倒的多数は、「特になし」で 74.5、行われた措置ではその他を除き「労働時間の一部休業」6.8% が最も多く、「特別休暇」4.0%、「シフト削減」1.9% と続いています。その他、自由記入欄では「緊急時の呼出体制」「遠出する際必ず前もって申請しなければならない」「外出禁止、飲み会禁止」など、感染対策やきんきゅうじたいせんげんへの対応など様々な措置が報告されました。

また、「人員整理」は 1.4%・260 人の回答がありました。早急に是正を求める取り組みが求められます。



### ■特別項目 設問 2

#### どの程度「休業」などが行われたか

設問 1 で「休業」もしくは「労働時間の一部休業」と回答した方が回答する設問では、「1～14 日の全日休業」が 3.9%、「15～30 日の全日休業」「31 日以上の全日休業」とともに 0.2% となっています。

### ■特別項目 設問 3

#### 「休業」もしくは「労働時間短縮」で基本賃金に変化は

圧倒的多くは「全額支払われた」3.8%でしたが、「休業部分が補償されなかった」0.5%・283 人をはじめ「休業部分は 6 割しか補償されなかった」0.4%・208 人、「休業部分は 8 割以上補償された」0.1・83 人など 574 人が補償されていない実態が明らかになりました。

(1) 全額支払われた	2145	3.8
(2) 休業部分は 8 割以上補償された	83	0.1
(3) 休業部分は 6 割しか補償されなかった	208	0.4
(4) 休業部分が補償されなかった	283	0.5

## ■特別項目 設問4

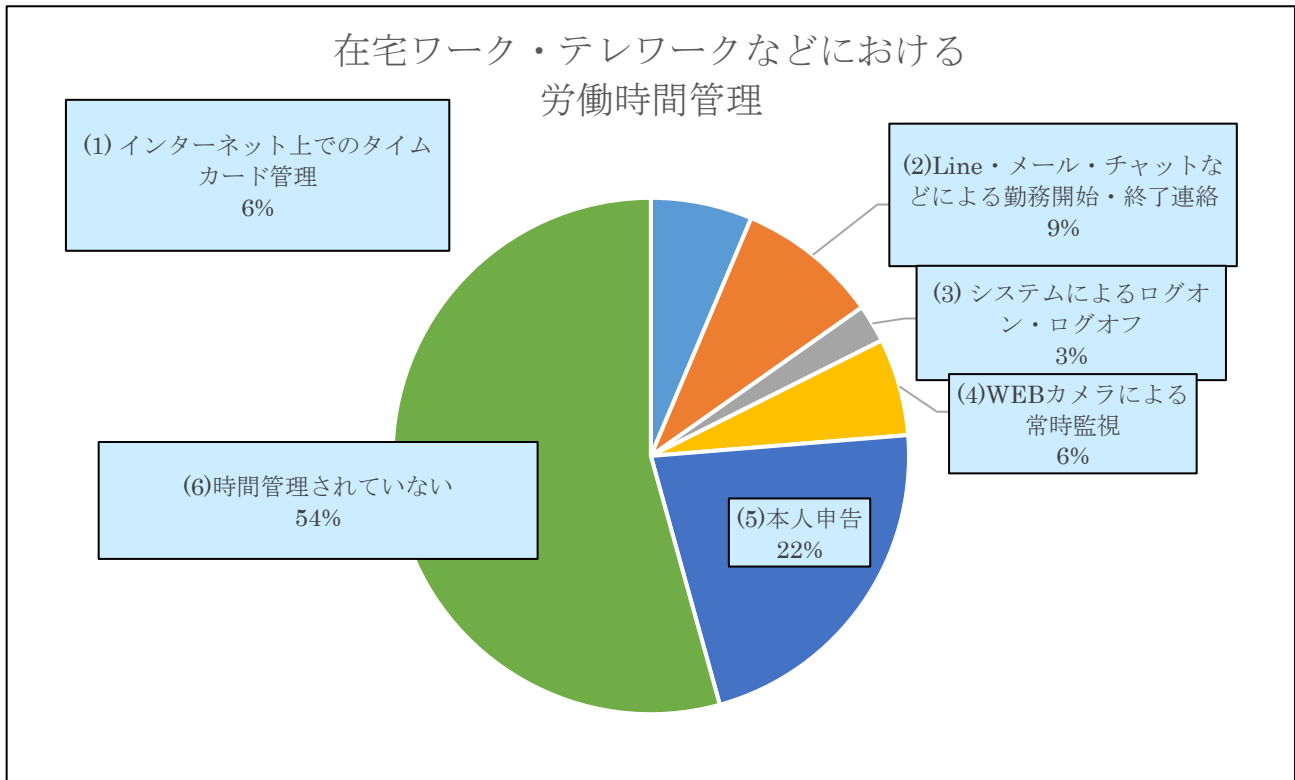
### 休業などの期間について賃金が払われなかった理由

圧倒的多くは「確認していない」1158人でしたが、「請求したが対象ではないといわれた」は27人が、「請求したが支給できないといわれた」は57人が回答しています。

## ■特別項目 設問5

### 在宅ワーク、テレワークなどの労働時間管理

「本人申告」166人、「時間管理されていない」410人と実質的には管理ができていない回答が76%に上りました。



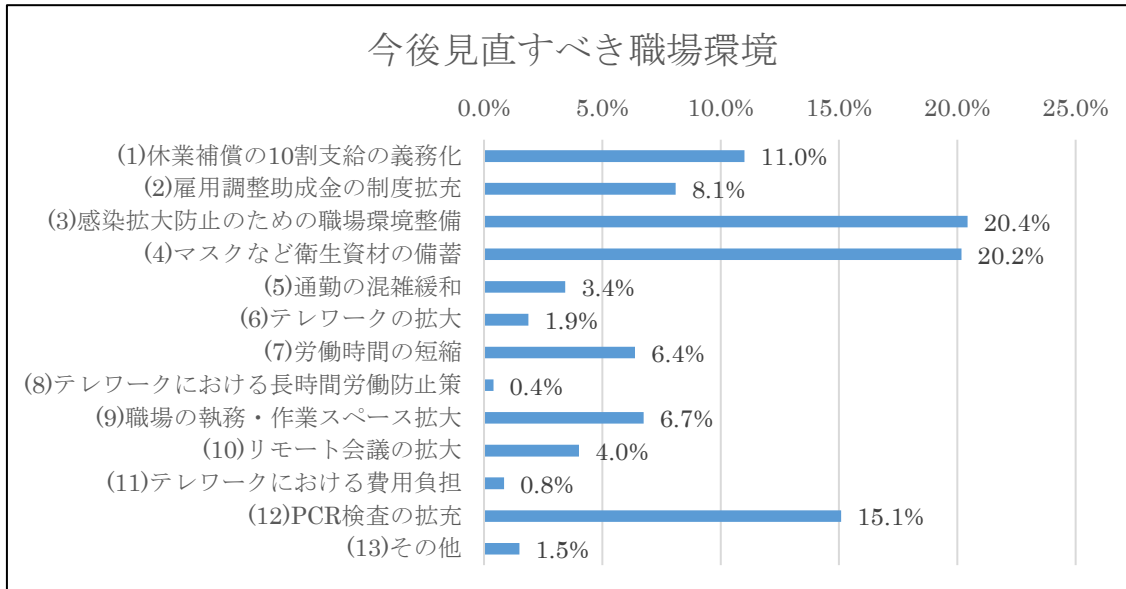
(1) インターネット上でのタイムカード管理	48
(2) Line・メール・チャットなどによる勤務開始・終了連絡	67
(3) システムによるログオン・ログオフ	18
(4) WEBカメラによる常時監視	46
(5) 本人申告	166
(6) 時間管理されていない	410



## ■特別項目 設問6

### 今後見直すべき職場環境

3つまでの複数回答で集約しました。「感染拡大防止のための職場環境整備」が 22.4%、「マスクなど衛生資材の備蓄」20.2%と感染拡大に直接かかわる回答が多数で、「PCR 検査の拡充」でも 15.1%と3番目となっています。



## ■特別項目 自由記入欄 VOICE

3535 人から新型コロナウイルス感染症の対応で現場は大変なことになっている実態からの生の声が寄せられました。

「医療福祉現場で働いている為、県外移動や交流に制限があり家族と会えない、外出先を制限している等、先の見えない自粛でストレスが溜まる。疲弊して倒れない事を祈るばかりです。」

「体の不調が続き、仕事がつらくなる。人数が確保できないため、短時間でも仕事ができる人の募集をかけてほしい。辞めたいと考えてしまいます。」

「現在コロナ患者が来た際に備えコロナ当番の呼び出し体制がある。12時間拘束されているような状態。ゆっくり寝る事もできず気持ちが休まらない。」

など、現場はコロナ禍で休めない、仕事も多い、疲れているといった声が多数寄せられました。